※令和３年度以前入学生用

学校番号	2004

令和４年度 芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校生の美術３（日本文教出版）						
副教材等	ワークシートプリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

絵画・彫刻、デザイン、鑑賞

① 心豊かな表現の構想、表現形式や材料・技法の活用により、独創的な表現を追究する。

② 伝える人の気持ちを考え意図に応じて、形や色彩の効果を生かして考えを独創的に伝えることを学ぶ。

③ 芸術作品の美しさや美術文化について理解を深めるとともに、自己や他者のよさを認め合い、感性と美意識を磨く。

授業の進め方については、絵画やデザインの表現活動において美術の歴史や表現の特質を参照しつつ、また作品の相互評価をするなど表現と鑑賞を一体にして扱う。

２　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい，多様な表現方法に関心をもち、美術文化を尊重し、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、独創的な主題を生成し、独創的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、個性を生かして創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や国際理解に果たす美術の役割、美術文化などの理解を一層深め、自己の価値観や美意識を働かせて、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	学習状況の観察、 レポート	アイデアスケッチ、 ワークプリント	制作途中作品、 完成作品	鑑賞レポート

※令和３年度以前入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	【彫塑】「手の塑像」	・手のスケッチデッサン ・塑像制作 ・作品鑑賞	○		○	○	a：手のポーズを見つめて造形美として感じ取ったことや考えたことに関心を持ち、主体的に独創的な主題を生成できる。 b： c：主題をより効果的な造形技法で表現できる。 d：他者の作品の表現の工夫を理解し、そのよさや美しさを創造的に味わえる。	学習状況の観察 アイデアスケッチ 完成作品 レポート
	夏季休暇課題	高校展作品鑑賞	○			○	a：他者の表現に興味を持ち、主体的に鑑賞の創造活動に取り組める。 b： c： d：美術作品などの表現の工夫を理解し、そのよさや美しさを味わえる。	鑑賞レポート
2学期	【デザイン】「百マススタンプ	・スタンプによる平面構成 ・作品鑑賞	○	○	○	○	a：図形構成に興味関心をもち、主体的に図形のデザイン構成が取り組める。 b：形や色彩などの造形要素の機能を踏まえて、独創的な図形表現の構想が練れる。 c：スタンプの重ね捺しによる色彩効果を理解し、デザインの主題をより効果的な構成方法で表現できる。 d：他者の作品の表現の工夫を理解し、そのよさや美しさを創造的に味わえる。	学習状況の観察 アイデアスケッチ 制作途中作品 完成作品 レポート ワークプリント

※令和３年度以前入学生用

３学期	【絵画】「ミクスドメディア表現」	・技法演習（デカルコマニー、フロッタージュ、コラージュ） ・作品制作 ・作品鑑賞	○	○	○	○	a: 様々な描画素材や表現技法に興味を持ち、主体的に主題を生成できる。 b: 感性や想像力を働かせて、独自の表現技法を創意工夫し主題を生成できる。 c: 主題をより効果的な表現方法で表現できる。 d: 美術作品などの表現の工夫を理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	学習状況の観察 アイデアスケッチ 完成作品 レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。